

研究紀要 32

目 次

岩崎 泰一・津島 秀章	1
みなかみ町藤原の黒色安山岩溶岩露頭	
関根 慎二	9
縄文時代の石製儀礼具について —孔を持つ石皿を中心に—	
石守 晃	21
復元陶鼓の使用痕跡と有孔鍔付土器 —有孔鍔付土器の一義的用途について—	
谷藤 保彦・高橋 清文・伊藤 順一	33
縄文時代前期前葉の「コの字形石敷炉」	
洞口 正史・外山 政子・有山 径世・小此木真理・ 佐々木由香・バンダリ スダルシャン	53
平安時代主食穀物についての素描 2 —長野原町上ノ平 I 遺跡の土器使用痕と出土炭化種実—	
飯森 康広	73
戦国期の富岡市妙義町菅原城と高田氏の検討	
関 俊 明・中島 直樹・勢藤 力	85
前橋市・高崎市・吉岡町域における天明泥流到達範囲 —天明三年浅間災害に関する地域史的研究—	
坂口 一・飯島 義雄・大西 雅広	103
高崎市羅漢町遺跡出土木棺の構造と葬送	
飯島 義雄	121
八坂用水の検討 —女堀未完成後における受益想定地・粕川流域の右岸での対応—	
山田 精一	141
大学入試と「歴史を考察する力」の育成について —「学校教育と埋蔵文化財の連携」からみた「日本史」大学入試—	

2014

公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団